

令和2（2020）年度「卓越大学院プログラム」審査結果について

卓越大学院プログラム委員会

「卓越大学院プログラム」（以下「本事業」という。）は、新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材（高度な「知のプロフェッショナル」）を育成することを目的とする事業である。

大学院の量的拡大を経ての修士・博士人材の増、大学における研究環境の一定の改善、世界的な競争力を有する研究分野の増加等が進む一方、経済成長が低下する中で世界における我が国のプレゼンスは揺らいでいる。特に、近年では優秀な若者が博士課程に進学しない「博士離れ」の状況が、我が国の知的創造力を将来にわたって低下させ、学術や科学技術イノベーションを含めた国際競争力の地盤沈下をもたらしかねない深刻な事態である。

今後我が国が豊かさを維持し成長していくためには、経済・社会の変化が急速に進む中で世界の産業構造を捉え、将来の新たな基幹産業を我が国が主導して創出すること（Society 5.0 社会の実現）が求められており、今日の大学院には、その源となる知や技術を生み出すとともに、それらを社会的価値につなげることでできる人材を輩出することが求められている。

これまでも、平成23（2011）年度から開始された「博士課程教育リーディングプログラム」等を通じて進められてきた世界的課題を解決するグローバルリーダーの養成に加え、今後はさらに、世界の学術を牽引する卓越した研究者や、知を社会に実装することを主導する起業家、イノベーションをリードする企業人、国内外のパブリック・セクターにおいて政策立案をリードする人材など、俯瞰力及び独創力並びに高度な専門性を備え、大学や研究機関、民間企業、公的機関等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材、すなわち、高度な「知のプロフェッショナル」をあらゆるセクターに対し輩出することが必要であり、これまでの取組によって各大学に蓄積された人材や研究の強みを生かし、我が国の未来の社会を支える国際的な競争力を備えた大学院を博士人材育成の場として形成していくことが必要である。

本事業は、各大学が持つそれぞれの問題意識に基づき当該大学全体の大学院改革を実現することを前提として、本事業への参加と取組及びその成果を通じ、我が国全体の大学院改革、すなわち大学院システム全体の見直しや各大学院における教育改革加速化を推進するものである。我が国をリードする大学院改革事業として、各大学の特色・強みを生かした独自の構想づくりを期待し、それぞれの自由な発想を生かした提案を求めた。

本事業では、国際的に通用する博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラムを構築・展開する取組について、以下の（1）から（4）の要件を満たすものの中から、高度な「知のプロフェッショナル」育成という目的に照らし、「卓越性」、「構想の実現可能性」、「継続性及び発展性」、「大学院改革事業としての意義」等を、教育研究の観点及びマネジメントの観点から総合的に勘案し選定することとし、審査の結果、卓越性が認められない取組は、実現可能性・継続性及び発展性・大学院改革事業としての意義が全て認められる場合であっても、採択しないものとした。

- （1） 高度な「知のプロフェッショナル」を育成するために、養成すべき人材像（どのような分野で活躍し、いかなる価値を創造して人類社会の課題解決を牽引する人材を育成するか）を明確に設定しているものであること。
- （2） 学長の責任の下、大学本部が主体的に関わる体制を構築し、当該大学の大学院全体の改革を実現する観点から、プログラムの構築・実施、成果の波及、取組の継続性・発展性の確保等を図るものであること。
- （3） 補助期間終了後に、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みとしての質が下がることがないようにすること。

- (4) 高度な「知のプロフェッショナル」にふさわしい俯瞰力及び独創力並びに高度な専門性が涵養されるよう、広範かつ一貫した教育課程を構築するものであること。

平成30(2018)年度から開始された本事業は、これまで、初年度となる平成30(2018)年度に15件のプログラム、2年度目となる令和元(2019)年度に11件のプログラムが採択されており、3年度目となる本年度は、本年1月31日から3月31日までの公募期間内に国公立大学から42件の申請を受付け、独立行政法人日本学術振興会において卓越大学院プログラム委員会の下に審査・評価部会を設け審査を行った。

審査・評価部会における審査では、提出された申請書類による「書面審査」を行う一次審査とヒアリングによる「面接審査」を行う二次審査の2段階審査を実施した。一次審査では主に専門的・学問的な知見により申請プログラムに深く関係する分野にかかる学術活動の水準等の卓越性及び教育プログラムとしての卓越性について意見を付す審査意見書を作成し、それを参考として審査委員が書面審査を実施の上、合議により面接審査対象プログラムを選定した。面接審査では構想ごとにプログラム責任者、プログラムコーディネーター等を対象にヒアリング審査を3日間にわたり実施した。

これらの審査に基づき、8月26日の本委員会において4件を採択することが妥当という審査結果をとりまとめたので公表する。

今年度採択されたプログラムは、高度な「知のプロフェッショナル」の育成という、本事業の目的に沿って、各大学において、どのような卓越した博士人材を育成するのかという定義付けが適切になされ、その上で、どのような取組や教育プログラム、あるいは環境の整備が必要なのかが十分に検討され、理学・工学分野を中心に人文・社会科学分野を取り込んだ文理融合の新たな制度設計を目指している点は、大学院全体の改革につながるような優れた提案であった。

社会の変革がめまぐるしい今こそ、大学には、培われた知識や洞察力を将来の価値創造や現実社会の問題解決に生かすという役割が期待されており、これまで採択されてきた30件のプログラムは、各大学が自身の強みを核に、卓越した博士人材を育成するとともに、大学院全体の改革につなげるという本事業の目的を認識し、我が国の大学の大学院改革をリードしていくことを期待したい。

当委員会としても、今後も引き続き、各プログラムの事業目的の着実な達成に向けて、フォローアップの充実に努めてまいりたい。

資料

1. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 申請・採択状況一覧
2. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 採択プログラム一覧
3. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 審査経過状況一覧
4. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム委員会等の日程について

1. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 申請・採択状況一覧

区分	申請数		採択数	
	大学等数	件数	大学数	件数
国立	22	37	4	4
公立	3	3	0	0
私立	2	2	0	0
合計	27	42	4	4

2. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム採択プログラム一覧

連番	大学名	プログラム名称	プログラムコーディネーター	連携先機関名
1	東京工業大学	マルチスコープ・エネルギー卓越人材	伊原 学 (東京工業大学・物質理工学院応用化学系・教授)	一橋大学、産業技術総合研究所、国際協力機構、川崎市、川崎重工(株)、千代田化工建設(株)、(株)東芝・東芝エネルギーシステムズ(株)、昭和電工(株)、プラザー工業(株)、東京電力ホールディングス(株)、岩谷産業(株)、JXTGエネルギー(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)IH、積水化学(株)、パナソニック(株)、ソニー(株)、(株)NTTファシリティーズ、NTTデータカスタマーサービス(株)、(株)NTTデータビジネスシステムズ、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、アズビル(株)、住友商事(株)、三菱商事(株)、(株)クヤマ、(株)鹿島建設、みずほ情報総研(株)、三菱電機(株)、Massachusetts Institute of Technology、Princeton University、Georgia Institute of Technology、University of California、Santa Barbara、University of Cambridge Judge Business School、Imperial College London、INSA Lyon、RWTH Aachen University、University of Stuttgart、Uppsala University、Nanyang Technological University、Tsinghua University、Korea Advanced Institute of Science and Technology、Thailand National Science and Technology Development Agency、CEA-Liten
2	名古屋大学	ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム	河口 信夫 (名古屋大学未来社会創造機構教授)	WHILL(株)、(株)MTG Ventures、(株)KDDI総合研究所、(株)ゼロワンブスター、総合警備保障(株)、損害保険ジャパン(株)、中部国際空港(株)、(株)ティアフォー、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、(株)三井住友銀行、ヤフー(株)、ヤマハ発動機(株)、岐阜大学、ミンガン大学(米国)、バージニア工科大学(米国)、オハイオ州立大学(米国)、チャルマース工科大学(スウェーデン)、シンガポール国立大学(シンガポール)、チュラロンコン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)
3	京都大学	社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム	原田 博司 (京都大学大学院情報学研究所通信情報システム専攻・教授)	学校法人自治医科大学、大学共同利用機関法人統計数理研究所、トヨタ自動車株式会社、日本電信電話株式会社NTTコミュニケーション科学基礎研究所、株式会社気象工学研究所、一般社団法人農業農村整備情報総合センター、大学共同利用機関法人総合地球環境学研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、国立研究開発法人理化学研究所、ヤフー株式会社Yahoo! JAPAN研究所、日本電気株式会社システムプラットフォーム研究所、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、西日本電信電話株式会社、株式会社KDDI総合研究所、株式会社角川アスキー総合研究所、一般財団法人Rubyアソシエーション、トリップアドバイザー株式会社、アンリツ株式会社、一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人水産研究・教育機構・水産大学校、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、wenvovator LLC、三菱電機株式会社 情報技術総合研究所、ソニー株式会社 R&Dセンター、University of Chicago、University of Illinois、Vienna University of Technology、ボツダム大学、Delft University of Technology、Technical University of Berlin、Aalborg University、華中農業大学、国立中興大学、国立台湾大学、University of Florida、Technical University of Munich、Sorbonne University、Centre national de la recherche scientifique(CNRS)、Institute for Infocomm Research、Agency for Science, Technology, and Research (A*STAR)
4	九州大学	マス・フォア・イノベーション卓越大学院	佐伯 修 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所・所長)	統計数理研究所、理化学研究所(革新知能統合研究センター、数理創造プログラム)、株式会社富士通研究所、株式会社Beautiful Mind、マツダ株式会社、住友電気工業株式会社、産業技術総合研究所、糸島市(地域振興課)、日本電信電話株式会社、イリノイ大学アーバナッシュンキャンパス校数学科(アメリカ)、カリフォルニア大学サンディエゴ校数学科(アメリカ)、ラ・トローブ大学数学統計学科(オーストラリア)、国立シンガポール大学数学科(シンガポール共和国)、台湾師範大学数学科(台湾)、ライデン大学数学研究所(オランダ)、ツェー研究所ベルリン(ドイツ)

3. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 審査経過状況一覧(総表)

区分		単独申請		共同申請		合計	
		大学数	件数	大学等数	件数	大学等数	件数
国立大学	申請数	22	37	0	0	22	37
	ヒアリング 対象数	9	13	0	0	9	13
	採択数	4	4	0	0	4	4
公立大学	申請数	2	2	1	1	3	3
	ヒアリング 対象数	0	0	0	0	0	0
	採択数	0	0	0	0	0	0
私立大学	申請数	2	2	0	0	2	2
	ヒアリング 対象数	0	0	0	0	0	0
	採択数	0	0	0	0	0	0
全大学	申請数	26	41	1	1	27	42
	ヒアリング 対象数	9	13	0	0	9	13
	採択数	4	4	0	0	4	4

3. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 審査経過状況一覧(機関別詳細)

【国立大学】

	機関名	申請件数 (合計)	面接審査実施数 (合計)	採択件数 (合計)
1	北海道大学	1	0	0
2	東北大学	3	3	0
3	山形大学	1	0	0
4	筑波大学	5	0	0
5	群馬大学	1	0	0
6	千葉大学	1	0	0
7	東京大学	2	1	0
8	東京工業大学	2	2	1
9	お茶の水女子大学	1	0	0
10	新潟大学	1	0	0
11	金沢大学	1	0	0
12	信州大学	1	1	0
13	名古屋大学	3	1	1
14	豊橋技術科学大学	1	0	0
15	京都大学	3	2	1
16	大阪大学	2	0	0
17	奈良先端科学技術大学院大学	1	0	0
18	岡山大学	1	1	0
19	広島大学	2	0	0
20	高知大学	1	0	0
21	九州大学	2	1	1
22	熊本大学	1	1	0
	合計	37	13	4

【公立大学】

	機関名	申請件数 (合計)	面接審査実施数 (合計)	採択件数 (合計)
23	静岡県立大学	1	0	0
24	大阪府立大学 大阪市立大学	1	0	0
25	兵庫県立大学	1	0	0
	合計	3	0	0

【私立大学】

	機関名	申請件数 (合計)	面接審査実施数 (合計)	採択件数 (合計)
26	明治大学	1	0	0
27	早稲田大学	1	0	0
	合計	2	0	0

合計	42	13	4
----	----	----	---

4. 令和2(2020)年度卓越大学院プログラム 審査・評価等スケジュール

